

## 新型コロナウイルスワクチンの職域接種における接種済証への ロット番号シールの貼付誤りについて

2021年9月1日  
関西電力株式会社

当社の新型コロナウイルスワクチンの職域接種において、実際に接種したワクチンと異なるロット番号シールを貼付した接種済証を交付していたことが判明しました。

当社は、6月21日以降、本店ならびに原子力発電所3カ所において、新型コロナウイルスワクチンの職域接種を進めています。この度、モデルナ社製のワクチンへの異物混入が公表されたことから、全社で、当該ワクチンの接種状況や在庫数等の確認を行いました。

その結果、大飯発電所において、8月10日に接種を受けた当社および協力会社従業員の30名に対して、実際に接種したワクチンのロット番号とは異なるロット番号シールを誤って接種済証に貼り付けていたことが判明し、その接種したワクチンは、後日、異物混入のリスクが否定できない対象ロットであったことを確認しました。

なお、当該ワクチンの接種対象者からは、現時点で体調への影響に関する報告はありません。

当社としては、本件を重く受け止め、再発防止を徹底するとともに、引き続き、感染の拡大防止に努めてまいります。

以 上